

野球 2019年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

準決勝 彦根東 2 - 5 滋賀学園

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
彦根東	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
滋賀学園	1	0	0	0	2	0	0	2	X	5



◀ 8回にタイムリーヒットを決める井上君



▶ 根本龍馬君（3-2）7回から登板し、投げぬいた。

安打数は上回る

大津市の皇子山球場で行われた準決勝戦では、優勝候補の一角として前評判の高い滋賀学園高校と対戦した。本校は、1回に滋賀学園に先行されたものの、3回に9番の川嶋清太君（3-5）のヒットからチャンスをつかみ、確実に送ってワイルドピッチから得点を挙げた。その後、再びリードされたが、8回に2番の加藤陽也君（3-5）のヒットから、盗塁後、5番の井上人太君（3-8）のタイムリーヒットで、1点差にまで迫り、粘り強さを見せた。最終的には、敗れたものの安打数は相手を上回り、どこからでも打てる打線のつながり



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金亀町4番7号

5月6日に皇子山球場で2019年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会の準決勝が行われた。本校は滋賀学園高校と対戦し2-5で惜敗した。

惜敗するも夏につながる戦い

りは、夏に向かったの好材料となった。また、川嶋君や中谷凌君（3-5）のファインプレーが光り、守備力も期待できることを示した。

この試合の先発投手を6回まで務めた中谷君は自身のピッチングを振り返って「序盤は打たれてしまったが粘り強く投げられていたと思う。終盤は打たれることを怖がって、制球が乱れてしまった」と明かした。

8回に適時打を決めた井上君は今日の試合で出た課題を「チャンスの場面で弱さが目立ってしまった」と挙げ、加えて3位決定戦に向けて「今日できなかったことを明日で克服できるようにしたい」と意気込みを見せた。

監督の村中隆之先生は今日の試合を「いつもよりヒットが出て、僅差の試合にはなつたが勝ちきれないところがあつた。こういう試合になるとは想定していたが、流れを相手に切られているのが残念だった。思いきってできたら逆の結果も出ただろう」と振り返られ、翌日行われる3位決定戦について「一度リセットし、夏に向けての準備として何かしようと考えていく試合にしたい」と語気を強められた。